

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

報告日 令和7年 11月 19日

P T A名	静岡県立静岡北特別支援学校 南の丘分校 P T A	
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	69人

1. 使用状況

寄贈物品名	バスケットボールユニフォーム
使用学年及び人数	バスケットボール部(男子) 1～3年生 ※令和7年度は15名
使用頻度	大会が開催される度に使用
使用状況	<p>大会までに、ユニフォームのサイズ確認、番号確認をしてから、大会当日に着用し、試合に臨んでいる。</p> <p>バスケットボールの大会では、試合の組み合わせによってユニフォームの色(濃淡)に指定がある。寄贈していただいたユニフォームはリバーシブル(濃淡)になっているため、その都度対応して試合に参加することができている。</p> <p>試合後は、各家庭で洗濯し、畳んでから生徒自身が学校に返却し、学校で管理している。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>大会に参加する上で、チームのユニフォームはとても大切であり、学校名が入ったユニフォームを着用することで、生徒達は大会への気持ちが昂ってくる。また、団体競技として、コート上に出場するメンバーと共に、同じユニフォームを着用しているベンチメンバーも同じ気持ちで試合に臨むことができる。</p> <p>チーム内で良いプレーを賞賛したり、励まし合ったりする姿も実際の大会で多く見られている。試合後は、同じユニフォームを着用したメンバーと写真を撮ってチームの記録として残しており、大会ごとに充実感やチームの成長を感じる生徒が多い。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>今後の大会についても、継続的にユニフォームを使用したいと考えている。寄贈申し込み当初の目的である「チームとして喜びを分かち合う」、「ユニフォームを管理する(洗濯する、畳む)」については、定着し継続できている。</p> <p>これからもユニフォームを大切にし、大会に参加しながら物を大切に扱う指導を続けていきたいと考える。</p>
その他希望や所感など	ユニフォームを着用することで、生徒達が自信をもって大会に臨むことができます。これからも大切にに使わせていただきます。

2. 活用の様子



←試合前の整列している様子です。
(白のユニフォームが南の丘分校)



←生徒が円陣を組み、試合に向けて
掛け声をかけています。



←試合後、出場した全員で写真を撮りました。とても良い表情です。